

2018 会 告 No.10



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

- 第84年会開催案内……………本号8ページ
- 第21回化学工学会学生発表会(東京大会・京都大会)要項……………本号10ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2018)	(2019)
<ul style="list-style-type: none"> ◇年会 ◇秋季大会 ◇支部大会 ◇学生発表会(東地区) <li style="padding-left: 20px;">(西地区) 	12/8(徳島大学)	3/13～15(芝浦工業大学) 3/2(東京理科大学) 3/2(京都大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
10月 October			
1	第2回企業経営幹部による熟議(東京都)		9号15
2	第24回実践化学工学講座(10/2～11/22の全11回)(大阪府)		7号18
3	開発型企業の会 2018年度第3回技術交流会(東京都)		9号15
4～5	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(東京都)		7号10
5	公開講演会「炭素系先端材料の新展開」(大阪府)		9号18
11～12	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(埼玉県)		5号11
11～12	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		7号11
13～14	第5回九州地区大学-高専若手研究者研究・教育セミナー(佐賀県)		8号11
15～16	入門触媒科学セミナー(大阪府)		7号18
20	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)		5号9
22	セミナー「～国際競争を生き抜くために～機能性繊維の基礎と最新動向」(大阪府)		8号10
22～23	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)		7号11
22～23	第23回基礎化学工学講習会(東京都)		9号17
25～26	「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(東京都)		7号11
29～30	第23回基礎化学工学講習会(東京都)		9号17
30	第15回上席化学工学技士交流会(東京都)	10月22日(月)	本号11
30	化学装置材料部会表面改質分科会公開講演(東京都)	10月18日(木)	本号11
31	第21回化学工学北海道アカシアセミナー 兼 第26回日本セラミックス協会北海道地区セミナー「セラミックスと化学工学の融合領域を考える!？」(北海道)	10月5日(金)	本号12
31	CVD反応分科会 第3回講習会「CVD・ALDプロセスの基礎」(東京都)	10月24日(水)	本号11
11月 November			
2	第61回プロセス設計技術講演会・見学会、 第47回秋田化学工学懇話会ケミカルエンジニアリング交流会(秋田県)	10月23日(火)	9号17
2～3	第44回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ!～明日の主役としての自覚と飛躍～」 東海セッション(愛知県)		6号8
3～4	第49回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(愛知県)		7号18
5～6	第23回基礎化学工学講習会(東京都)		9号17
8～9	「バッチ操作を伴うプロセス設計」(東京都)		7号12

9	CVD反応分科会 第29回シンポジウム「流動層の基礎とCVD/ALDによる粉体材料の機能化」(東京都)	11月2日(金)	本号11
14~15	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(大阪府)		5号11
14~16	「プラント計装制御-1」講座(東京都)		9号13
15~16	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)	10月29日(月)	7号19
16	反応分離シンポジウム2018(茨城県)	11月8日(木)	9号16
16	第5回初歩からの化学工学数学演習講座(愛知県)	11月9日(金)	9号18
16	2018年度セミナー「低炭素社会構築を目指した最新のCO ₂ 利用技術」(広島県)	10月19日(金)	本号15
16~18	熱工学セミナー「亜熱帯地域産業における熱工学」(沖縄県)	10月16日(火)	9号16
19~20	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)		7号12
20	第26回イブニングセミナー「超音波を用いたファインなもののづくり」(東京都)		本号13
20	マイクロプロセス最前線シリーズ-来るべき変革に向けた始動-(大阪府)		本号14
26	マイクロ化学プロセス分科会主催第10回講演会(東京都)	11月19日(月)	本号12
28~30	「P & IDの作り方」講座(東京都)		7号13
29~30	第52回化学工学の進歩講習会 「物質循環とマテリアル開発(マテリアル開発におけるシステムの思考の有用性)」(愛知県)	11月15日(木)	9号18
30	第59回関東技術サロン「膜を利用した先端排水処理技術」(東京都)		本号13
12月 December			
3	2018年度コンビナート講習会「プラント保安の高度化」(東京都)		本号13
4~5	粉体エンジニア早期養成講座【集じん】(静岡県)		5号11
5~7	第24回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(FB24) 第13回反応装置・プロセスシンポジウム(東京都)	事前参加 11月9日(金)	7号15
7	第50回CEシリーズ講習会「希望品質の結晶を積み上げる戦略と実践」(東京都)		本号14
7	近化電池セミナー「リチウムイオン電池の最前線」(大阪府)		本号15
7~8	第44回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ！～明日の主役としての自覚と飛躍～」 東京セッション(東京都)		6号8
8	中国四国支部・関西支部合同徳島大会(徳島県)	10月26日(金)	9号19
13	開発型企業の会 2018年度第4回拡大技術交流会(東京都)	12月6日(木)	
13~14	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(大阪府)		5号11
15	実践化学工学講座 実習編「反応速度定数の決定と実際の反応操作への適用」【1日目】(大阪府)	11月26日(月)	本号15
2019年1月 January			
11	実践化学工学講座 実習編「反応速度定数の決定と実際の反応操作への適用」【2日目】(兵庫県)	11月26日(月)	本号15
24~25	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		9号13
28~30	「反応器の設計」講座(東京都)		9号14
31~2/1	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		5号11
2019年2月 February			
7~8	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		9号14
2019年3月 March			
2	第21回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)	12月7日(金)	本号10
2	第21回化学工学会学生発表会京都大会(京都府)	12月7日(金)	本号10
13~15	化学工学会第84年会(東京都)	12月22日(土)	本号8

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
11月4～7日	The 6th Asian Conference on Innovative Energy and Environmental Chemical Engineering (ASCON-IEEChE2018) (台湾・日月潭)		
11月5～9日	23th International Conference on Chemical Reactor (Ghent, Belgium)		
11月21～22日	25th Regional Symposium in Chemical Engineering (Makati, Philippines)		
11月30日～12月1日	第31回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2018) (タイ・チェンマイ市)		6号10

◇共 催・協 賛 行 事 (本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事 (場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号 (FAX) E-mail, URL
エネルギー・環境シンポジウムシリーズ 水環境の評価, 修復およびそれを支える計測技術 (東京都)	10月3日 (水)	産業技術総合研究所	emri-2018touroku-ml@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/emri/
第11回トライボロジー入門西日本講座 (兵庫県)	10月4～5日 (木～金)	日本トライボロジー学会	03-3434-1926 (03-3434-3556) http://www.tribology.jp/
第13回エコバランス国際会議 (東京都)	10月9～12日 (火～金)	日本LCA学会	045-228-7696 (045-228-7697) ecobalance2018@ilcaj.org http://www.ecobalance2018.org/
「高分子材料・炭素繊維複合材料の耐久性評価」に関する講習会 (大阪府)	10月10日 (水)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
プラスチック成形加工学会 「第23回成形加工テキストセミナー」 (東京都)	10月11日 (木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) http://www.jspp.or.jp/kikaku/kikaku_top.html
2018年度水素・燃料電池材料研究会講座 (東京都)	10月12日 (金)	高分子学会 水素・燃料電池材料研究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/materials.php
第40回安全工学セミナー 危険現象講座 (東京都)	10月16～17日 (火～水)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第4回材料WEEK (京都府)	10月16～19日 (火～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp/
第235回西山記念技術講座 (愛知県)	10月17日 (水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mu7viqm77
第66回レオロジー討論会 (福岡県)	10月17～19日 (水～金)	日本レオロジー学会・日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第66回表面科学基礎講座 (大阪府)	10月18～19日 (木～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
第63回プラスチックフィルム研究会講座 (東京都)	10月19日 (金)	高分子学会 プラスチックフィルム研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) https://www.spsj.or.jp/entry/
環境資源工学会シンポジウム「リサイクル設計と分離精製技術」第36回：レアメタル等湿式分離精製技術の最前線 (東京都)	10月19日 (金)	環境資源工学会	03-6459-2203 (03-3403-1776) rpsj@nacos.com http://www.nacos.com/rpsj/

熱工学コンファレンス2018(富山県)	10月20～21日 (土～日)	日本機械学会	026-269-5105 tedconf18@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/conference/tedconf18/
原子力総合シンポジウム2018(東京都)	10月22日(月)	日本学術会議総合工学委員会原子力安全に関する分科会	03-3508-1261 (03-3581-6128) kikaku@aesj.or.jp http://www.aesj.net/
日本高圧力技術協会 技術セミナー 圧力設備の供用適性(FFS)評価法(東京都)	10月23～24日 (火～水)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpj.org http://www.hpj.org/event/murt9w9cg-178/#
ICMST-Tohoku 2018(宮城県)	10月23～26日 (火～金)	日本保全学会	http://www.jsm.or.jp/jsm/ICMST2018/ICMST2018_Home.html
第236回西山記念技術講座(東京都)	10月24日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mu7viqm77
「化学の日/化学週間」記念ケミカルフォーラム2018 (東京都)	10月24日(水)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) t_nobiraki@chemicaldaily.co.jp
63rd FRP CON-EX(コネックス)2018(東京都)	10月25～26日 (木～金)	強化プラスチック協会	03-5812-3370 (03-5812-3375) http://jrps.or.jp/
シンポジウム「量子ビームで拓く荷電膜の未来 ーガンマ線・電子線からイオンビームへの展開ー」 (群馬県)	10月29日(月)	日本海水学会 電気透析および膜技術研究会	0836-85-9205 kakahana@yamaguchi-u.ac.jp
第55回石炭科学会議ー石炭の基礎的研究や利用に関する研究に対して発表の場を提供ー(福岡県)	10月29～30日 (月～火)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan55happyo@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/2018/sekika/sanka.html
第9回イオン液体討論会(鳥取県)	10月29～30日 (月～火)	イオン液体研究会	9thmeeting@ilra.jp http://www.ilra.jp/
第65回材料と環境討論会(富山県)	10月29～31日 (月～水)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/
第35回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2018 (東京都)	10月29日～ 11月1日(月～木)	日本能率協会 日本膜協会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp http://school.jma.or.jp/g/
第9回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(北海道)	10月30日～ 11月1日(火～木)	日本機械学会	kumagai@jsme.or.jp http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2018/
AICHE – SCEJ Joint Session “Celebrating Prof. Mori's Career Long Accomplishments” (米国 ミネソタ州 ミネアポリス)	10月30日～11月2日 日のいずれか1日	AICHE	https://www.aidhe.org/conferences/aidhe-annual-meeting/2017
第14回微粒化セミナー(東京都)	11月1日(木)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) jie-events1921@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/636
日本高圧力技術協会 技術セミナー 圧力設備の材料, 設計, 施工, 維持管理の基礎(大阪府)	11月1～2日 (木～金)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpj.org http://www.hpj.org/murt9w9cg-178/#
日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会講演・討論会(東京都)	11月2日(金)	日本セラミックス協会	092-925-7721 (092-925-7724) sakamoto@fitc.pref.fukuoka.jp http://www.ceramic.or.jp/bgenryo/

プラント運転の安全と高度化を考える講演会(岡山県)	11月6日(火)	計測自動制御学会	03-3292-0314 tanaka@sice.or.jp http://www.sice.or.jp/bukai_web_appli/sindex.html
第30回環境システム計測制御学会(EICA)研究発表会(大阪府)	11月6~7日(火~水)	環境システム計測制御学会	090-9219-4106 (077-537-4997) info@eica.jp http://eica.jp
プラスチック成形加工学会「第24回成形加工テキストセミナー」(東京都)	11月7日(水)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) http://www.jspp.or.jp/kikaku/kikaku_top.html
第13回エレクトロヒートシンポジウム(東京都)	11月7日(水)	日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) fukunaga@jeh-center.org http://www.jeh-center.org/13th/EHsympo.html
第35回医用高分子研究会講座〜がん治療と医用高分子〜(東京都)	11月8日(木)	高分子学会医用高分子研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) https://www.spsj.or.jp/entry/
第32回日本吸着学会研究発表会(大阪府)	11月8~9日(木~金)	日本吸着学会	06-6850-5778 (06-6850-6720) adsorption32@gmail.com http://www.j-ad.org/
膜シンポジウム 2018 “人が交(混)じる, 膜は分ける”(兵庫県)	11月13~14日(火~水)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://www.maku-jp.org/
第40回ドライプロセス国際シンポジウム(愛知県)	11月13~15日(火~木)	DPS 2018 組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2018@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2018/
第39回日本熱物性シンポジウム(愛知県)	11月13~15日(火~木)	日本熱物性学会	052-789-4470 (052-789-4470) info2018@jstp-symp.org http://jstp-symp.org/symp2018/index.html
第56回燃焼シンポジウム(大阪府)	11月14~16日(水~金)	日本燃焼学会	072-254-9222 (075-441-0436) sympo56@combustionsociety.jp http://www.combustionsociety.jp/sympo56/
第12回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム(福岡県)	11月14~17日(水~土)	日本電磁波エネルギー応用学会	03-3414-4554 (03-3414-4554) sympo2018@jemea.org http://www.jemea.org/
第40回安全工学セミナー プラント安全講座(東京都)	11月15~16日(木~金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
No.18-75 産業・化学機械と安全部門研究発表講演会 2018 秋(東京都)	11月16日(金)	日本機械学会	03-5360-3505 (03-5360-3509) sato@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/icm/
酵素工学会 第80回講演会(東京都)	11月16日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp http://www.enzyme-eng.com
第61回自動制御連合講演会(愛知県)	11月17~18日(土~日)	システム制御情報学会	052-789-2745 shunichi.azuma@mae.nagoya-u.ac.jp https://rengo61.iscie.or.jp

第27回ポリマー材料フォーラム(東京都)	11月21～22日 (水～木)	高分子学会	03-5540-3770 (03-5540-3737) 27pmf@spsj.or.jp http://main.spsj.or.jp/pmf.html
第70回白石記念講座 「AI(人工知能),ビッグデータが拓く鉄鋼の未来を考える」 (東京都)	11月26日(月)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/muriv6uyn
2018年度保安セミナー(東京都)	11月26日(月)	石油学会	03-6206-4301 (03-6206-4302) events@sekiyu-gakkai.or.jp http://www.sekiyu-gakkai.or.jp
第37回溶媒抽出討論会(京都府)	11月26～27日 (月～火)	日本溶媒抽出学会	0774-65-6655 (0774-65-6655) mmatsumo@mail.doshisha.ac.jp
プラスチック成形加工学会第26回秋季大会(静岡県)	11月26～27日 (月～火)	プラスチック成形 加工学会	053-478-1045 (053-478-1029) symposia18@mechmat.eng.shizuoka. ac.jp http://www.jspp.or.jp/kikaku/sympo2018/index.html
第59回高圧討論会(岡山県)	11月26～28日 (月～水)	日本高圧力学会	070-5545-3188 (020-4665-8596) touronkai59@highpressure.jp http://www.highpressure.jp/new/59forum/
第38回水素エネルギー協会大会(東京都)	11月28～29日 (水～木)	水素エネルギー協 会	(03-3293-7572) 38hess@hess.jp http://www.hess.jp/
国際粉体工業展東京2018(東京都)	11月28～30日 (水～金)	日本粉体工業技術 協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2018@powtex.com http://www.powtex.com/tokyo/
第32回分子シミュレーション討論会(茨城県)	11月28～30日 (水～金)	分子シミュレー ション研究会	sympo@mol-sim.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj32/
第51回安全工学研究発表会(石川県)	11月29～30日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第34回ゼオライト研究発表会(北海道)	11月29～30日 (木～金)	日本ゼオライト学 会	0138-44-4325 matsuhashi.hiromi@h.hokkyodai.ac.jp https://jza-online.org/events
第8回潜熱工学シンポジウム(愛知県)	12月3～4日 (月～火)	日本潜熱工学研究 会	052-789-5597 kubota.mitsuhiro@material.nagoya-u. ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/8thLatentheatSympo/8thSym-index.html
International Symposium for Materials Scientists ～ for Inspiration to Innovation by Interaction～(大阪府)	12月3～4日 (月～火)	大阪大学博士課程 リーディングプロ グラム『インタラ クティブ物質科 学・カデットプロ グラム』	06-6850-6403 (06-6850-6403) kikutsuji-ta@cheng.es.osaka-u.ac.jp http://www.msc.osaka-u.ac.jp/
エコデザイン・プロダクト&サービスシンポジウム2018 (EcoDePS2018)(東京都)	12月5日(水)	エコデザイン学会 連合	03-5840-8141 (03-5840-8142) secretariat@ecodenet.com
第45回炭素材料学会年会(愛知県)	12月5～7日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://tanso.org/

SCIS&ISIS2018 (Joint 10th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 19th International Symposium on Advanced Intelligent Systems) (富山県)	12月5～8日 (水～土)	日本知能情報フ ァ ジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) soft@fisi.cird.or.jp http://scis2018.j-soft.org
第17回評価・診断に関するシンポジウム(茨城県)	12月6～7日 (木～金)	日本機械学会	hiroki.mano@aist.go.jp http://diagnosis.dynamics.mech.eng.osaka-cu.ac.jp/
講習会「静電気の利用と制御」(東京都)	12月11日(火)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org http://www.iesj.org/
第32回数値流体力学シンポジウム(東京都)	12月11～13日 (火～木)	日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) z-cfd32_admin@ml.jaxa.jp http://www.nagare.or.jp/cfd/cfd32/
第38回レオロジー講座－基礎と測定法－(東京都)	12月13～14日 (木～金)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第31回バイオエンジニアリング講演会(福島県)	12月14～15日 (金～土)	日本機械学会	bioconf18-2@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf18-2/
第2回ゼロライトセミナー(大阪府)	12月17日(月)	日本ゼロライト学 会	06-6850-6255 (06-6850-6257) nisiyama@cheng.es.osaka-u.ac.jp https://jza-online.org/events
第27回微粒化シンポジウム(岡山県)	12月17～18日 (月～火)	日本液体微粒化学 会	06-6466-1588 (06-6463-2522) infomation_atmz@ilass-japan.gr.jp http://www.ilass-japan.gr.jp
第30回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2019年1月 16～17日(水～木)	高分子学会高分子 ゲル研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php
第14回バイオマス科学会議(広島県)	2019年1月 16～17日(水～木)	日本エネルギー学 会 バイオマス部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) bio14happyo@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/629/
第40回安全工学セミナー 安全マネジメント講座(東京都)	2019年1月17～ 18日(木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第24回高専シンポジウム in Oyama (栃木県)	2019年1月26日(土)	国立高等専門学校 機構	0285-20-2141 (0285-20-2882) senkou@oyama-ct.ac.jp
第35回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	2019年1月 29～30日(火～水)	エネルギー・資源 学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp http://www.jser.gr.jp/index.html
「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」 シンポジウム Mate 2019(神奈川県)	2019年1月 29～30日(火～水)	スマートプロセス 学会 エレクトロニ クス生産科学部 会, 溶接学会 マイ クロ接合研究委員 会	http://sps-mste.jp/mate2019/src/
第11回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム/第12回プラズマナノ科学技 術国際会議 ISPlasma2019/IC-PLANTS2019(愛知県)	2019年3月 17～21日(日～木)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2019@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
世界水素技術会議2019(東京都)	2019年6月2～7日 (日～金)	水素エネルギー協 会	029-861-8712 (029-861-8712) org@whtc2019.jp http://whtc2019.jp

第84年会 開催案内

「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集

会 場：芝浦工業大学 豊洲キャンパス(〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7番5)
 会 期：2019年3月13日(水)～3月15日(金)
 講演申込期間：2018年11月1日(木)～12月22日(土)23:59
 大会Webサイトからの申込に限ります。
 講演要旨原稿提出期間：2019年1月7日(月)～2月13日(水)23:59必着
 講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。
 一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は
 大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講
 演要旨原稿の訂正は一切できません。
 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/84a/>

化学工学会第84年会は、2019年3月13日(水)～15日(金)の3日間、芝浦工業大学豊洲キャンパスにおいて開催されます。今回の年会では、一般研究発表に加え、産業セッション、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」、国際シンポジウム(英語セッション)を行います。その他のシンポジウムも企画中です。多数のご参加、講演申込をお願いいたします。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成して下さい。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。また講演要旨は、事前参加登録者(参加費支払済みの方)全員に、大会会期前に大会Webサイトで限定公開いたします。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。)

注意点

○講演発表申込時の発表者事前了解について
 必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有の有無について
 発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターボードに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力下さい。

(※ 上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっています。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載下さい。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

講演申込について

○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

正会員(名誉会員を含む)
 学生会員(ただし、修士課程以下の学生はポスター発表のみ)

教育学会

海外会員(海外正会員、海外連携会員、海外学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む)に属する社員)

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者

中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会(KICHE)、台湾化学工学会(TWICHE)、ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHE)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会Webサイト(<http://www.scej.org/>)をご参照下さい。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。

3) なお、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」の申込資格、講演内容等の詳細については、後述します。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトから申し込み下さい。講演申込期間は、2018年11月1日(木)から12月22日(土)です。大会Webサイトからの申し込みに限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承下さい。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管して下さい。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。

なお、講演プログラムの編成上、申し込み時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。

○申込時の注意事項

* 講演申込期間以外は受理できません。

* JISコードのない日本語文字は使用しないで下さい。

さい。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないで下さい。

* 講演申込一件分をひとつずつ送信して下さい。

* 二重送信は絶対にして下さい。

* 申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。

* 申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。

* プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。

* 最終日はサーバーが非常に混雑し、申込が出来ない事態の生じることが予測されます。余裕をもってお申し込み下さい。

* 大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

○講演分類

申込時には、下記の分類とともにキーワード(英語)を3つ入力して下さい。

○一般研究発表

[1. 基礎物性]

平衡物性・輸送特性、固体物性、薬品の毒性・引火点、エンジニアリングデータ

[2. 粒子・流体プロセス]

熱物質流体工学、攪拌・混合操作、流動層技術、気泡塔・懸濁気泡塔、混相流、粉体プロセス

[3. 熱工学]

熱的単位操作、燃焼・プラズマ・伝熱、熱交換器、各種エネルギーシステム、マイクロおよびバイオテクノロジーへの伝熱・輸送現象の展開

[4. 分離プロセス]

膜工学、固液分離、蒸留、吸収、吸着・イオン交換、抽出、晶析、乾燥、特殊分離法

[5. 反応工学]

触媒反応工学、ソノプロセス、活性種化学、反応分離、反応装置、マイクロ化学プロセス、CVD・ドライプロセス

[6. システム・情報・シミュレーション]

プラントオペレーション、プロセスエンジニアリング、プロセスダイナミクス応用、プロセス制御、最適手法、情報処理技術

[7. バイオ]

生物プロセス、生体反応、生物分離、遺伝子、メдикаル、生物情報、環境生物、食料・食品

[8. 超臨界流体]

単位操作、基礎物性、分離・抽出、反応・物質変換、材料創製・製造、環境負荷低減プロセス

[9. エネルギー]

エネルギー開発、蓄熱・増熱・熱輸送技術、炭素系資源利用、熱エネルギー利用、新エネルギー・エネルギーシステム

[10. 安全]

リスクコミュニケーション方法、オペレーション設計法、安全設計、変更管理、安全性評価手法、安全技術伝承、少人化・無人化問題、物質安全

[11. エレクトロニクス]

電気化学プロセス（電池、めっき、等）、電子材料プロセス（半導体製造、電子回路製造、等）、微細加工技術（エッチング、薄膜形成、等）、高信頼性設計（高放熱、短絡現象、等）、インターコネクション技術（接着、接合、等）、環境持続可能技術

[12. 材料・界面]

界面制御、エマルジョン、機能性微粒子、ナノ粒子、ゲルテクノロジー、マイクロカプセル、晶析、塗布技術、微細構造形成・複分散系集合体、機能化高分子素材、材料プロセス、材料レオロジー

[13. 環境]

水環境プロセス、排水処理技術、化学物質のリスク・管理、循環型社会設計手法、リサイクル技術、地球環境、CO₂問題、地球全体の炭素循環

[14. 広領域]

テクノロジーマネジメント、経済評価・市場調査、教育、JABEE、その他

講演要旨原稿について**○作成・提出方法**

講演要旨原稿の提出期間は、2019年1月7日(月)から2月13日(水) 23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出(アップロード)して下さい。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名(連名発表者全員)が申込時のそれらと異なるように注意して下さい。異なっている場合はプログラム(大会webサイト、講演要旨集、冊子)に反映されることがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル(Microsoft Wordファイル)を掲載します。ご利用下さい。

- 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出(アップロード)して下さい。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚(1ページ)です。ただし、20分を超える講演は2枚(2ページ)です。
- 原稿1ページの書式は以下を基準とします。
全体体裁：2段組み、24字×49行×2段＝2352字、段間の間隔6mm
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm
字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦251mmの中に全内容を納めて下さい。
- 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm(9文字分)、上マージンから21mm(4行分)を空白にしておいて下さい。
- 講演題目は、1行目の左マージンから31mm(9文字分)空けて、本文より大きく書いて下さい。
- 研究者氏名を「(所属略称)(会員資格・保有している取得化学工学会資格)氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、海外(正・連携・学生)会員は(海)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員)に属する社員は(部)と記し、その他の場合は書かないで下さい。保有している化学工学会資格は7)を参照して下さい。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。

い。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけて下さい。

(例)(芝浦工大工)○(正・技士)化工一郎*・(学)東京花子・豊洲太郎

- 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記して下さい。化学工学修習士：修習、化学工学技士(基礎)：技基、化学工学技士：技士、上席化学工学技士：上技。
- (例)(正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等
- 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし、2ページ以上の原稿の場合、2ページ目は1行目から書いて下さい。
- 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

(PDFファイルに関する注意点)

- ファイルサイズは1229kB以下にして下さい。
- セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出(アップロード)して下さい。
- PDFファイルの提出(アップロード)には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます(受理通知が再送されます)。
- 締切日までの間は、何回でも「提出(アップロード)」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

(講演要旨原稿提出時の注意事項)

*締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。

*締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について

化学工学会では、化学工学会Webサイト(会員専用ページ)の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3ヵ月後です。

発表方法(一般研究発表)について

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載致します。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護について

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨並びに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後6ヶ月以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会

Webサイト(<http://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>)をご確認下さい。また、第84年会の講演要旨公表日は2019年2月27日(水)です。

ニューテックセッション(付設展示会)の募集(予告)

2018年11月頃より、ニューテックセッション(付設展示、カタログ展示)の募集を開始いたします。詳細は本誌11月号や大会Webサイトに掲載予定です。

プログラム集広告・大会Webバナー広告の募集(予告)

2018年11月頃より、プログラム集広告・大会Webバナー広告の募集を開始いたします。詳細は本誌11月号や大会Webサイトに掲載予定です。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

「産業セッション」

第80年会(2015年)より継続して開催している「産業セッション」を本大会でも実施いたします。産業界出身の委員によってテーマ設定された複数の口頭セッション、ポスターセッション、海外留学生と企業との交流会から構成されます。今、産業界の関心事は何なのか、何を考えどう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。是非ご参加下さい。

開催日等詳細については大会Webサイトをご覧ください。

シンポジウム「化学産業技術フォーラム」

本フォーラムで発表いただくことにより、発表企業にとって技術や製品の宣伝のみならずその存在感を示すことでビジネスへの発展が大いに期待できます。また企業イメージを学生に具体的にかつ積極的に発信することができます。是非積極的にご発表下さい。

なお、シンポジウムの一部についてはテーマの公募を行います。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

○参加・発表

「化学産業技術フォーラム」への参加・発表には、年会への参加登録が必要です(追加料金不要)。

○講演申込資格

年会要領に準じます。ただし、学生の発表はできません。

○講演の内容

- ・特許化したもの、企業化したもの、新聞発表したものも可とします。
- ・企業戦略、知的財産戦略などの関連から、「物質A、B、C」などによる発表も可とします。

○講演募集セッション、講演申込方法および締切、講演要旨原稿の作成要領、講演要領、等、詳細については大会Webサイトにてご確認ください。

国際シンポジウム | 英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムです。アジア国際賞受賞記念講演は、来年秋に開催されるAPCCHE2019で予定しています。

問合せ先

化学工学会第84年会実行委員会
E-mail : inquiry-84a@www3.scej.org

第21回化学工学会学生発表会(東京大会・京都大会)要項

第21回大会は、東京理科大学(東京都葛飾区)と京都大学(京都市)で開催致します。

奮って発表及び参加下さいませようお願い申し上げます。

前回第20回の実施概要については、本号「本会の動き」をご参照下さい。

発表申込期限：2018年12月7日(金)17:00

要旨提出期限：2019年2月8日(金)17:00

事前参加登録期限：2019年2月15日(金)17:00

開 催 日：2019年3月2日(土)

主催 公益社団法人化学工学会

共催 (A. 東京大会) 同 人材育成センター、北海道支部、東北支部、関東支部、東海支部

(B. 京都大会) 同 関西支部、中国四国支部、九州支部、人材育成センター

趣旨 若者の理科への興味を引き出し伸ばし、有能な研究者あるいは技術者を育成するには、暗記に頼らず、若い年齢から自然観察、実験、自前の考察をもとに他人と話し合う教育が必要です。高校生、高専生および大学生が、研究成果の発表と関連な討論を行うことにより、研究者あるいは技術者として堅実に成長する機会を提供することを目的とします。

日時・会場 2019年3月2日(土)9:30～

(A. 東京大会) 於：東京理科大学葛飾キャンパス(東京都葛飾区)

(B. 京都大会) 於：京都大学桂キャンパス(京都府京都市)

発表形式 (A. 東京大会)(B. 京都大会)ともに、口頭発表(PCプロジェクタ使用、詳細はホームページをご参照下さい)。ポスター発表はありません。

発表時間 (A. 東京大会)(B. 京都大会)ともに、12分(発表7分、討論4分、交代1分)

応募資格 原則発表者または連名者のうち少なくとも1名は化学工学会の会員であること。ただし、高校生の発表では発表者および連名者の会員有資格は問いません。なお、その他の発表でも発表会の趣旨に合致すると判断される場合には発表を認めますので、発表申込前にE-mailで各実行委員会に問い合わせ下さい。

発表者(登壇者) 大学生(1～4年生)、高専生(本科生、専攻科生)、高校生。

ただし、登壇予定者が当日都合により欠席の場合、連名者に代行していただきます。

内容 化学工学、エネルギー、資源・環境、生物、その他(物理化学、有機化学、無機化学、材料、計算化学、教育など)

特別講演 (A. 東京大会) 演題および講演者はホームページに掲載。

(B. 京都大会) 「Chemical Engineer っておもしろい?!」-泡の研究を通して-

京都大学 工学研究科長・工学部長 教授 大嶋正裕氏

発表申込 発表地区別に、各大会ホームページからお申し込み下さい。発表会場は、原則として東海以东の方は東京大会、関西以西は京都大会をお願いいたします。なお、発表申込とは別に参加申込が必要となります。

発表申込締切 2018年12月7日(金)17:00まで(厳守願います。)

要旨 A4版2段組1枚(詳細はホームページをご参照下さい。)

要旨締切 2019年2月8日(金)17:00必着

参加予約 参加会場別に、各大会ホームページからお申し込み下さい。振込に関する詳細はホームページをご参照下さい。振込は参加申込後、1週間以内をお願いします。

参加予約申込締切 2019年2月15日(金)17:00まで(交流会も含まれます。これを過ぎると当日参加料金となります。)

参加費 一般5,000円(当日6,000円)、大学生3,000円(当日4,000円)、高専生(4年生以降)2,000円(当日3,000円)、高校生および高専生(1～3年生)無料、高校生引率者1,000円

発表者助成 高専生、高校生対象に、旅費の一部を助成する制度があります。条件、申込方法などの詳細は各大会ホームページをご参照下さい。

表彰 優秀者を表彰致します。原則全員審査対象となります。辞退する場合は発表申込時にお申し出下さい。

交流会会場及び参加費

(A. 東京大会) 東京理科大学葛飾キャンパス 食堂

(B. 京都大会) 京都大学桂キャンパス カフェアルテ

一般および高校生引率者2,000円(当日3,000円)、大学生および高専生(4年生以降)1,000円(当日1,500円)、高校生および高専生(1～3年生)無料

両大会ともアルコール類はご用意致しません。

問い合わせ・申込み先

(A. 東京大会) 第21回化学工学会学生発表会(東京大会)実行委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「学生発表会東京大会」係

E-mail: inquiry-stu21e@www3.scej.org

ホームページ: <http://www3.scej.org/meeting/stu21e/>

(B. 京都大会) 第21回化学工学会学生発表会(京都大会)実行委員会

〒739-8527 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科化学工学専攻

E-mail: inquiry-stu21w@www3.scej.org

ホームページ: <http://www3.scej.org/meeting/stu21w/>

人材育成センター

第15回上席化学工学技士交流会 (東京)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2017年までに180名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って2014年7月に始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様との交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所で年4回開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のもと、意見交換がなされてきました。

今後とも東京、大阪の両方で上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 2018年10月30日(火) 14:00～19:00

対象 「上席化学工学技士」資格保有者

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

内容

司会：上席化学工学技士(エーザイ(株))

遠藤真一氏

1. 参加者自己紹介、名刺交換会(14:00～14:30)
2. 話題提供「化学工学におけるシミュレーション技術とデータ解析技術(仮)」(14:30～15:30)
上席化学工学技士(横河電機(株))
山田 明氏
3. 話題提供「原子力バックエンドにおける化学工学の役割」(15:30～16:30)

上席化学工学技士(栗田工業(株))

岩崎 守氏

4. 総合討論(講演内容およびその他テーマにて意見交換)(16:30～17:00)

(場所を移動)

5. 交流懇親会(17:30～19:00)

募集定員 24名(定員になり次第締切)

参加費 4,000円(当日会場受付でお支払下さい)

申込方法 化学工学会ホームページよりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail : qualification“アットマーク”scej.org

TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

部 会 C T

化学装置材料部会 公開講演

主催 化学工学会化学装置材料部会

日時 2018年10月30日(火) 14:25～16:50
(受付:14:20～)

場所 東工大蔵前会館3階 小会議室2
<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/>

化学工学会・化学装置材料部会・表面改質分科会では、表面改質をはじめ関連する材料技術等の見識を深めることを目的に講演会を開催しています。今回、公開講演会を開催致しますので奮ってご参加ください。

プログラム

「改良型ガス冷却原子炉における9Cr-1Mo鋼の酸化挙動」

EDF Energy Generation, CO₂ Oxidation Technologist Aya Shin 氏

「航空・宇宙材料の変遷-ライト兄弟初飛行から宇宙ロケットまで-」

テクノアートA.T.代表 武井 厚氏

参加費 無料

申込締切 10月18日(木)

定員(20名)に達し次第締め切らせていただきます。

申込・問合せ先

参加をご希望の方は、①お名前②ご所属③連絡先(所在地、TEL、Email)をご記入の上、下記連絡先にE-mailにてお申込みください。

化学装置材料部会庶務幹事 荒尾与史彦助教(東京工業大学)

E-mail : arao.y.ab@m.titech.ac.jp

CVD反応分科会 第3回講習会 「CVD・ALDプロセスの基礎」

主催 反応工学会CVD反応分科会, CVD研究

会, Cat-CVD研究会

日時 2018年10月31日(水) 10:00～18:00

場所 東京大学 本郷キャンパス 武田先端知ビル5F 武田ホール

プログラム

9:30～10:00 受付

10:00～10:05 開会挨拶

10:05～11:35 反応速度論とCVDプロセスの反応速度解析

(京都大学) 河瀬元明氏

11:35～12:10 CVD反応器の形状と操作が製膜速度分布・膜質に及ぼす影響

(横浜国立大学) 羽深 等氏

12:10～13:30 休憩

13:30～14:05 量産対応CVD装置の概要とシミュレーションを活用した設計・開発

(東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)) 川上雅人氏

14:05～15:05 CVDにおける素反応の量子化学計算の方法と素反応シミュレーションの実例

(産業技術総合研究所) 松木 亮氏

15:05～16:05 MOVPEによる化合物半導体成長における製膜速度分布の制御

(東京大学) 杉山正和氏

16:05～16:25 休憩

16:25～17:25 ALDの基礎と応用用途

(東京大学) 霜垣幸浩氏

17:25～18:00 CVD・ALD原料の特性と原料選択の指針

(気相成長(株)) 町田英明氏

18:10～19:40 懇親会

オーガナイザー

河瀬元明(京都大学), 百瀬 健(東京大学)

参加費 化学工学会CVD反応分科会法人賛助会員(1口につき1人無料, 2人目以降は10,000円), 化学工学会CVD反応分科会個人会員(10,000円), 化学工学会会員(15,000円), CVD研究会会員(15,000円), Cat-CVD研究会会員(15,000円), 非会員(20,000円), 学生(5000円)

円)

申込方法 <http://www2.scej.org/cre/cvd/>よりお申し込み下さい。アクセスできない場合には、

(1) 氏名, (2) 所属, (3) 連絡先E-mail, (4) 参加資格(所属学会等), (5) 懇親会欠欠を明記の上, cvd@scej.orgまでメールにてお申し込み下さい。

申込締切 10月24日(水)ただし、定員(250名)になり次第締め切ります。

問合せ先 CVD反応分科会事務局

E-mail : cvd@scej.org

CVD反応分科会 第29回シンポジウム 「流動層の基礎とCVD/ALDによる 粉体材料の機能化」

主催 反応工学会CVD反応分科会, CVD研究会, Cat-CVD研究会, 反応工学会触媒反応工学分科会

日時 2018年11月9日(金) 13:00～17:45(終了後、懇親会を開催します)

会場 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 国際会議室

プログラム

12:30 受付開始

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～14:05 (基調講演)「流動触媒層の特徴と工業プロセスへの応用」

鹿児島大学 甲斐敬美氏

14:05～14:45 「プラズマCVD法によるDLCコーティング技術」

アドバンストマテリアルテクノロジー

本多祐二氏

14:45～15:25 「CVDの二次元場から三次元場への展開-流動層法による高純度・長尺カーボンナノチューブの高収率合成」

早稲田大学 野田 優氏

15:25～15:40 休憩
 15:40～16:20 「粉体へのALDコーティング概説
 -成膜方式と課題, アプリケーション, 世界の動向」
 ALDジャパン 百瀬 渉氏
 16:20～17:00 「Particle ALD developments and opportunities」
 Forge Nano Paul Lichty氏
 17:00～17:40 「室温原子層堆積法による微粒子
 上金属酸化物コーティング」
 山形大学 廣瀬文彦氏
 17:40～17:45 閉会挨拶
 18:00～19:30 懇親会

シンポジウムオーガナイザー 川上雅人(東京エレクトロンテクノロジーズソリューションズ), 島田 学(広島大学), 百瀬 渉(ALDジャパン), 野田 優(早稲田大学)

参加費 化学工学会CVD反応分科会法人賛助会員(無料), 化学工学会CVD反応分科会個人会員(2,000円), 化学工学会反応工学部会会員(3,000円), 化学工学会員(4,000円), CVD研究会会員(4,000円), 触媒反応工学分科会(3,000円), Cat-CVD研究会会員(4,000円), 非会員(10,000円), 学生(無料)

申込方法 <http://www2.scej.org/cre/cvd/> よりお申込み下さい。上記サイトにアクセスできない場合には、(1) 氏名, (2) 所属, (3) 連絡先E-mail, (4) 参加資格(所属学会等), (5) 懇親会出欠を明記の上, cvd@scej.org までメールにてお申込み下さい。

申し込み締め切り 11月2日(金)ただし, 定員(約100名)になり次第締め切ります。

問合せ先 CVD反応分科会事務局
 E-mail: cvd@scej.org

マイクロ化学プロセス分科会主催 第10回講演会

主催 化学工学会反応工学部会マイクロ化学プロセス分科会
協賛 京都大学マイクロ生産研究コンソーシアム, 日本プロセス化学会, 一般社団法人近畿化学協会

マイクロデバイスやフロー式装置を利用した有機合成・抽出分離・材料製造プロセスの開発, および, 関連するin-situ分析やプロセス制御における最新の技術動向を産官学の先生方にご紹介いただきます。皆様奮ってのご参加をお待ちしております。
 詳細は分科会の公式ホームページ (<http://www2.scej.org/cre/mcp/>) にも掲載しておりますので, あわせてご覧ください。

日時 2018年11月26日(月)13:15～18:30
会場 機械振興会館(東京都港区芝公園3-5-8, JR浜松町駅から徒歩15分, 東京タワー向かい)
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/index.html>

プログラム(予定)
 13:00 開場
 13:15～13:20 閉会挨拶
 13:20～14:00 「フロー精密アニオン重合の実用化に向けて」

日産化学(株) 田所真介 様
 14:00～14:40 「マイクロミキサーを用いた高速連続超臨界CO₂/液抽出・分離技術の開発」
 産業技術総合研究所 藤井達也 様,
 川崎慎一郎 様

14:40～15:00 「in-situモニタリング機器とアプリケーションの紹介」
 メトラー・トレド(株) 藤澤吉文 様,

山崎陽一 様
 15:00～15:20 休憩
 15:20～16:00 「マイクロ流路を利用した機能性ナノ繊維の製造技術」
 岡山大学 小野 努 先生
 16:00～16:40 「マイクロ化学プロセス研究の現状と今後」
 京都大学 長谷部伸治 先生
 16:40～16:45 閉会挨拶
 17:00～18:30 懇親会

参加費(税込) 会員(協賛団体を含む)12,000円, 会員外18,000円, 学生3,000円

懇親会費(税込) 5,000円

申込締切 11月19日(月)ただし, 定員(50名)に達し次第, 締切とさせていただきます。

申込方法 mcpe-accept2018@cheme.kyoto-u.ac.jp 宛にE-mailをお送りください。その際, タイトルを「化学工学会マイクロ化学プロセス分科会講演会_参加申し込み」とし, 本文に以下の事項を記載してください。

【お名前】
【分類】 会員/協賛団体(団体名)/会員外/学生のいずれか一つ

【ご所属】

【部署名/役職】

【連絡先住所】

【電話番号】

【E-mailアドレス】

【参加費の支払方法】 銀行振込/当日支払

【懇親会】 参加する/参加しない

【その他, 分科会や講演会への希望など】

折り返し, 受理確認および参加費の振込先に関するメールをお送りします。

問合せ先 E-mail: mcpe-accept2018@cheme.kyoto-u.ac.jp 宛にタイトルを「化学工学会マイクロ化学プロセス分科会講演会_問い合わせ」として送信して頂ければ回答をさせていただきます。

地域 C T



北海道支部

『第21回化学工学北海道アカシアセミナー』(懇話会第161回講演会)兼『第26回日本セラミックス協会北海道地区セミナー』合同大会
 テーマ「セラミックスと化学工学の融合領域を考える!？」

主催 公益社団法人 化学工学会北海道支部, 化学工学北海道懇話会, 日本セラミックス協会東北北海道支部
協賛 一般社団法人 北海道バイオ工業会, 公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター

近年, 様々な学問分野で融合の促進は, 新規学問分野の開拓にむけて, 重要性を増してきています。今回は, 化学工学会北海道支部と日本セラミックス協会東北北海道支部北海道地区の関係者が一同に会し, それぞれの分野の講演を聴講・懇談することにより, 新たな融合領域の創製, 共同研究のきっかけとなることを目指し, 本合同セミナーを企画しました。多数の皆様の御参加をお待ち申し上げます。

日時 2018年10月31日(水)13:30～17:05

場所 北海道大学 工学部 フロンティア応用化学研究棟2階 セミナー室
 札幌市北区北13条西8丁目
 TEL: 011-706-8109
<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/fcc/>

プログラム
開会挨拶 13:30～13:40
 室蘭工業大学 教授
 (化学工学会北海道支部 支部長) 大平勇一氏
座長: 北海道大学大学院 工学研究院教授
 島田敏宏氏

講演1 13:40～14:25
 『超高齢社会に役立つバイオマテリアルの開発と骨再生医療』
 北海道立総合研究機構 工業試験場 材料技術部長(化学工学会北海道支部 副支部長)
 赤澤敏之氏

講演2 14:25～15:10
 『希土類複合酸化物の多形構造とその磁気的性質』
 北海道大学大学院 理学研究院教授(日本セラミックス協会東北北海道支部 支部長)
 日夏幸雄氏

休憩 15:10～15:25
座長: 北海道大学大学院 工学研究院教授(化学工学会北海道支部 副支部長) 増田隆夫氏
講演3 15:25～16:10

『全固体リチウム二次電池の開発と課題』
 北海道大学大学院 工学研究院教授
 忠永清治氏
 『マイクロ波を利用したカーボンの高温プロセス』
 北海道大学大学院 工学研究院教授
 向井 紳氏

閉会挨拶 16:55～17:05
 北海道大学大学院 工学研究院教授
 忠永清治氏

懇親会 17:15～18:45
会場 北海道大学 北部食堂1階

参加費 大会: 無料, 懇親会: 2,000円
参加申込要領 参加御希望の方は, 御氏名, 御所属, 御連絡先(住所, 電話/FAX, E-mail address)及び懇親会御参加の有無を明記の上, 10/5(金)迄に, 下記のE-mailまたはFAXでお申込み下さい。

申込先
 化学工学会所属の方: 北海道立総合研究機構 工業試験場 松嶋景一郎, 吉田誠一郎
 FAX: 011-726-4057
 E-mail: matsushima-keiichiro@hro.or.jp
yoshida-seiichiro@hro.or.jp
 日本セラミックス協会所属の方: 北海道大学大学院 工学研究院 長浜太郎
 FAX: 011-706-6578

E-mail : nagahama@eng.hokudai.ac.jp



関東支部

第26回 イブニングセミナー —超音波を用いた ファインなものづくり—

主催 (公社)化学工学会関東支部
共催 反応工学会ソノプロセス分科会
協賛 日本ソノケミストリー学会

化学工学会関東支部では、新聞、雑誌、ニュース等で話題になっているホットな技術を取り上げ、その分野に詳しい技術者あるいは先生に平易に解説していただき、理解を深めるセミナーを開催しています。今回は、ファインパブルやナノ粒子など微細なものづくりに超音波を利用し、さらに質の高いクオリティーに仕上げる実用例の紹介をします。

本セミナーでは、東北大学の久保正樹氏に超音波を用いたポリマーの特性制御に関する講演、名古屋大学の安田啓司氏に超音波とウルトラファインパブルの相互作用に関する講演を頂きます。多数の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時 2018年11月20日(火)16:00～19:00
会場 東京電機大学東京千住キャンパス
(地図：https://www.dendai.ac.jp/access/tokyo_senju.html)
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
(TEL：03-5284-5120)
最寄り駅 北千住駅東口(電大口)徒歩1分

プログラム

1. 開会の挨拶(16:00～16:05)
 2. 「超音波を活用したポリマー合成プロセスの構築と特性制御法の確立」(16:05～16:45)
東北大学 久保正樹氏
 3. 「ウルトラファインパブルとソノプロセスへの応用」(16:45～17:25)
名古屋大学 安田啓司氏
 4. 講演者との交流会(17:45～19:00)
- 募集人員** 50名 申し込み先着順で定員になり次第締め切ります。

参加費 正会員 4,000円, 法人会員(協賛団体含む) 4,000円, 学生会員 2,000円, SCE・Net会員 2,000円, サロンメンバー 2,000円, 会員外 6,500円
尚、それぞれの参加費にはテキスト代と消費税が含まれています。

支払方法 受付後にお送りする振替用紙にて事前にお振込みをお願いいたします。
当日会場での現金支払いも可能です。
当日のキャンセルについては、参加費をご請求させていただきます。

申込方法

- ・Web申込み
関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催のご案内の『第26回イブニングセミナー』をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。
- ・Fax, E-mailによる申込み
参加者氏名、勤務先(所属部署まで)、連絡先(郵便番号、勤務先住所、電話番号、FAX番号)、会員資格、ご希望のテーマを明記して事前下記までお申し込み下さい。

尚、請求書をご希望の方は、請求書と明記してください。

申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向 4-6-19 共立会館内(社)化学工学会 関東支部
TEL : 03-3943-3527 **FAX** : 03-3943-3530
E-mail : info@scej-kt.org

第59回 関東技術サロン講演会 「膜を利用した先端排水処理技術 ～基礎知識から次世代排水処理 技術まで～」

主催 (社)化学工学会関東支部

1960年代から水処理膜の開発が進み、急速な技術革新とともに1980年代から様々な水処理膜が普及し始めました。現在は、RO膜(逆浸透膜)やNF膜(ナノろ過膜)、UF膜(限外ろ過膜)、MF膜(精密ろ過膜)などの水処理膜が、超純水製造等の用水処理から排水処理、排水回収、海水の淡水化に至るまで幅広く利用されています。本講演では、主に排水処理に使用されている膜の素材やモジュールなどの基礎知識について紹介した後、膜を使用した生物処理装置(MBRなど)や水処理膜最大の課題であるファウリング(目詰まり)の原因や対策について、実例も交えて解説します。また合わせて、最新の研究トピックについても、その研究動向を紹介します。

なお講演終了後には、講師の方を囲みでの交流会も予定していますので合わせてご参加下さい。

日時 2018年11月30日(金)16:30～18:00(講演・ディスカッション)18:00～19:30(交流会)
場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N棟大会議室
アクセス JR/東京メトロ東西線/西武新宿線 高田馬場駅下車徒歩15分、または東京メトロ副都心線 西早稲田駅直結 <https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

プログラム

- 16:30～16:35 関東支部長 開会挨拶
- 16:35～17:40 講演「膜を利用した先端排水処理技術～基礎知識から次世代排水処理技術まで～」
- 17:40～18:00 ディスカッション
- 18:00～19:30 交流会

講師 栗田工業(株) 開発本部 技術開発部門 先進・基盤第二グループ 澤村大地様
定員 80名

参加資格 サロンメンバー、化学工学会会員(正会員、法人会員)、SCE・Net会員
参加費 サロンメンバー 2,000円, SCE・Net会員 2,000円, 正会員 2,000円, 法人会員 4,000円, 学生 1,000円

受付後、参加証・会場案内図をお送りします。請求書希望の方には請求書も併せてお送りします。

申込方法 Web、メールあるいはFAXにてお申し込みください。

- ・Web申込み：関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>) の次回行事開催一覧の「59回関東技術サロン」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信下さい。
- ・Fax, E-mailによる申込み：下記関東支部事務局宛、「第59回 関東技術サロン」と明記し、会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便番号、住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書

送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

問合せ・申込み先 (公社)化学工学会関東支部事務局
TEL : 03-3943-3527 **FAX** : 03-3943-3530
E-mail : info@scej-kt.org

2018年度コンビナート講習会 「プラント保安の高度化」 ～高度なリスクアセスメント、 IoT・ビッグデータ技術の活用と スーパー認定事業所～

主催 化学工学会関東支部

石油・化学プラントを長時間にわたって安定かつ安全に運転する上で、設備保安はもともと重要で不可欠であることは言うまでもありません。近年進歩が著しいIoT、ビッグデータ、AI等の新しい技術のこのプラント保安への適用(スマート化)が図られつつあり、またそれら利用した高度なリスクアセスメントも行われるようになってきています。

一方で我が国の石油・化学プラントは、その多くで老朽化が進み、またこれまでプラントの保守・保安を行ってきた要員の高齢化による退職が進んでおり、プラントを保有し操業している事業者にとっては、これらの問題への対処も重要な課題となっています。

このような状況下で経済産業省は、高度なリスクアセスメントの実施、IoT・ビッグデータ等の先進的な技術の導入などを要件として、高圧ガス保安法による規制の緩和をすべくスーパー認定事業所制度を2017年4月にスタートさせています。

本講演会は、上記状況を踏まえて、プラントの高度保安における高度なリスクアセスメントやIoT・ビッグデータ技術の活用についての技術的側面、さらにそれらを用いたスーパー認定事業所制度に焦点を当てた構成としました。関係各位のプラントの高度保安への取り組み、スーパー認定事業所の認定取得へ向けた活動の一助として頂ければ幸いです。

日時 2018年12月3日(月)13:30～17:00
会場 東京理科大学 森戸記念館(東京都新宿区神楽坂4-2-2)
JR 総武線、地下鉄有楽町線、東西線、南北線飯田橋駅下車 徒歩6分
<https://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

プログラム

- 〈開会の辞〉(13:30～13:35)
13:30～13:35 (公社)化学工学会関東支部第2企画副委員長挨拶 日揮(株) 山本尚司
- 〈講演〉(13:35～16:55)
13:35～14:20 「スーパー認定事業所制度とIoT・ビッグデータ・AIの保安への活用について」
経済産業省 山中悠揮氏
- 14:20～15:05 「スーパー認定取得への取り組みと今後について」
JXTGエネルギー(株) 丸山和彦氏
- 〈休憩〉(15:05～15:25)
- 15:25～16:10 「スーパー認定事業所とリスクアセスメント」
AIG損害保険(株) 紺野 宏氏
- 16:10～16:55 「プラント診断技術とAI技術を融合させたAIスマート運転保安システム」
千代田化工建設(株) 井川 玄氏
- 〈閉会の辞〉(16:55～17:00)

関西支部

マイクロプロセス最前線シリーズ — 来たるべき変革に向けた始動 —

主催 化学工学会関西支部
協賛 近畿化学協会, 日本化学会近畿支部, 有機合成化学協会関西支部ほか

日時 2018年11月20日(火)10:00~18:00
会場 大阪科学技術センター8階中ホール・小ホール(大阪市西区靱本町1-8-4)
(交通) 地下鉄四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩7分, うつぼ公園北詰

プログラム

- [招待講演] デジタル化時代のものづくり (10:00~12:00)
(東大院経済/ものづくり経営研セ) 藤本隆宏氏
- ポスターセッションおよび展示会 (12:00~15:00)
 - 1) 昼食休憩 兼 企業展示, ポスター掲示
 - 2) 出展企業ショートプレゼンテーション
 - 3) ポスター発表および展示会
 (企業での成果もしくは現状の取り組みに関するポスター発表)
味の素(株), (株)カネカ, (株)神戸製鋼所, ダイキン工業(株), 千代田化工建設(株)
(大学からの最新シーズに関するポスター発表)
(阪大院工)五十嵐幸一氏, (岡山大院自然科学)小野 努氏, (京大院工)牧 泰輔氏, (神戸大院工)堀江孝史氏
(出展企業)調整中(デバイス, 機器, センサ, 分析機器等企業)
- [基調講演] マイクロ・フロー合成における化学プロセス技術の考察と展望(15:00~16:00)
(徳島大院社会産業理工)外輪健一郎氏
- ミキサー交流会(16:00~18:00)於:小ホール, 参加無料
※ミキサー交流会中もポスター発表, 展示会は継続します。

参加費 主催・協賛団体個人正会員20,000円, 主催・協賛団体法人会員23,000円, 大学・公設機関7,000円, 学生会員3,000円, 会員外37,000円, 会員外学生5,000円(何れもテキスト代・消費税含)

定員 80名(定員になり次第締切)

参加申込方法 ホームページ上からのお申込み, またはE-mail等で標記タイトルを題記し,
1)氏名, 2)勤務先・所属, 3)連絡先(住所, 郵便・電話番号, E-mail), 4)会員資格, 5)送金方法(送金予定日), 6)請求書の要否を明記のうえ, 下記宛お申し込みください。参加費は銀行送金「りそな銀行御堂筋支店普通預金No.0405228 公益社団法人化学工学会関西支部 名義」をご利用ください。
※参加申込者には11月上旬に参加証を送付いたします。

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお取扱いいたします。

申込先 公益社団法人化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org

16:55~17:00 (公社)化学工学会関東支部第2企画委員長挨拶

千代田化工建設(株) 蛙石健一

定員 50名(定員になり次第締切)

参加費 正会員9,000円, 法人会員社員11,000円, 会員外15,000円, 学生会員2,000円
尚, それぞれの参加費にはテキスト代と消費税が含まれます。

申込方法 Web, メールあるいはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み: 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「コンビナート講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので, 必要事項を記入の上, ご送信下さい。

・Fax, E-mailによる申込み: 下記関東支部事務局宛, 「コンビナート講習会」と明記し, 会社・学校名, 参加者氏名, 所属部署, 郵便番号, 住所, 電話番号, Fax番号, E-mailアドレス, 会員資格, 参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

問合せ・申込み先 (公社)化学工学会関東支部事務局
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
E-mail: info@scej-kt.org

第50回 Continuing Education シリーズ講習会 「希望品質の結晶を積み上げる 戦略と実践」

— 晶析の知恵を涵養し,
希望の結晶を自在に創る —

主催 (公社)化学工学会関西支部

協賛 (公社)化学工学会材料・界面部会 晶析技術分科会, 粉体工学会, 日本プロセス化学会, 食品工学会, 開発型企業の会, 日本化学会, 分離技術会

結晶製品の連続生産プロセスを構築するには, 晶析工程だけでなく, 下流の固液分離や乾燥工程の安定運転制御を実現することが要求されます。特に晶析工程は, 下流の工程の性能に大きな影響を与えます。しかしながら, 晶析基礎現象となる核化現象は, 未解明の部分が多く, 核化の確率的な挙動により, 粒径制御, オイルアウト, 消えた多形, さらにはスケーリングなど予測しにくい現象が現場の技術者を悩ますことがあります。

本講演では, 晶析工学の基礎現象(核化・成長), および学問の新展開を学び, 食品・医薬品, ナノ粒子生成, 環境エネルギー分野で, 基礎現象をどのように活用しているのか, その実践について理解を深めます。

日時 2018年12月7日(金)9:00~17:45

講演終了後に交流会を開催

会場 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N棟1階大会議室
〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
アクセス <http://www.waseda.jp/fsci/access/>

プログラム

- 開会の挨拶(9:00~9:05)
埼玉大学 本間俊司氏
(第一部 基礎に根ざした戦略)
- 希望品質の結晶を積み上げる戦略と実践(9:05~9:20)
早稲田大学 平沢 泉氏

3. 核化への理解を深め, そして制御する(9:20~10:05)
岩手大学 久保田徳昭氏

4. 潜熱蓄熱材過冷却融液内の核化挙動(10:05~10:50)
パナソニック(株) 町田博宣氏
— 休憩(10:50~11:00) —

5. 医薬品原薬製造プロセス研究における晶析の適用事例(11:00~11:45)
エーザイ(株) 小寺孝憲氏

— 質疑応答(11:45~12:00) —
— 昼食(12:00~13:00) —

6. 高品質な結晶粒子群製造のための晶析工学の新展開(13:00~13:45)
東京農工大学 滝山博志氏

(第二部 応用・実用展開)
7. 懸濁型冷却晶析におけるスケーリングの抑制(13:45~14:15)
三菱ケミカル(株) 日野智道氏

8. 医薬品の連続生産プロセスへの新展開(14:15~14:45)
千代田化工建設(株) 田口智将氏

9. 反応晶析法による微結晶生成のための戦略(14:45~15:15)
早稲田大学 平沢 泉氏

— 休憩(15:15~15:30) —

10. 環境分野における晶析法の適用(15:30~16:00)
オルガノ(株) 横山 徹氏

11. 晶析装置の課題と展開(仮)(16:00~16:30)
月島機械(株) 須田英希氏

12. GEAのプロセス 晶析~乾燥(16:30~17:00)
GEAプロセスエンジニアリング(株) 荻田邦久氏

13. PATツールを用いた晶析プロセス開発とアプリケーション事例(17:00~17:30)
メトラ・トレード(株) 中務真結氏

— 質疑応答(17:30~17:45) —
交流会(18:00~19:30)

募集人数 60名(定員になり次第募集を締め切りとさせていただきますので, その点ご了承ください)

参加費 正会員(協賛団体含む)16,000円, 法人会員21,000円, 学生会員3,000円, 会員外31,000円, サロンメンバー8,000円
※なお, それぞれの参加費には消費税・テキスト代が含まれます。

支払方法 受付後, 参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込みください。当日, 会場での現金払いも可能です。

当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 Web, メールまたはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み
関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「Continuing Education 50」をクリック後, 「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので, 必要事項を記入の上, ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み
下記関東支部事務局宛, 「Continuing Education 50」と明記し, 会社・学校名, 参加者指名, 所属部署, 郵便番号, 住所, 電話, Fax番号, E-mailアドレス, 会員資格, 参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申込先 公益社団法人化学工学会関東支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
E-mail: info@scej-kt.org

近畿電池セミナー リチウムイオン電池の最前線

主催 近畿化学協会
共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2018年12月7日(金)10:00～18:30
会場 大阪科学技術センター4階401号室(大阪市西区靱本町1-8-4)
(交通)大阪メトロ(地下鉄)四つ橋線「本町」駅25・28番出口を北へ徒歩約7分、うつば公園北詰

プログラム

1. 次世代LIBに向けたJSRのロールtoロールLiプレドープ技術
(JSR)小島健治氏
 2. リチウムイオン電池用電解液の研究最前線
(東大院工)山田裕貴氏
 3. 高容量リチウムイオン電池向けSiOx負極材料
(パナソニック)武澤秀治氏
 4. 金属多硫化物を用いた革新型蓄電池実現に向けての取り組み
(産総研)倉谷健太郎氏
 5. EV用全固体リチウムイオン電池における硫化物固体電解質の研究
(トヨタ自動車)中西真二氏
 6. リチウムイオン電池関係のビジネス環境
(八山)馬場良貴氏
- アフターディスカッション(懇親交流会) 参加無料
参加費 主催団体会員20,000円、共催・協賛団体会員25,000円、会員外30,000円、大学・官公庁職員10,000円、学生5,000円
参加申込方法 標記行事名を題記し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail)、4)会員資格、5)アフターディスカッション参加の有無、6)送金方法を明記のうえ、下記宛にお申し込みください。参加費は、銀行振込「三井住友銀行備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会」、郵便振替「00930-5-64179 一般社団法人近畿化学協会」、または現金書留の何れかをご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います)
申込先 一般社団法人 近畿化学協会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: mail@kinka.or.jp

会場 (株)カネカ 高砂工業所(兵庫県高砂市高砂町宮前町1-8)

モデル反応実験を通して、反応速度定数の求め方、反応器の形式が反応特性に及ぼす影響について学びます。また、反応器内が非理想流れるとなる反応器のモデリングについても学びます。〈実験はグループにて実施します。段取りや役割は、グループ毎で協力しながら実験を進めていただくことになります。〉

プログラム

- 【1日目】講義・実習(実験データの取得)
①本の説明と課題説明 ②講義・講習 ③反応実験のデータの取得(実験) ④2日目の課題説明(各自課題をモデル化)
【2日目】(株)カネカ 高砂工業所見学/討議/統括
①(株)カネカ 高砂工業所見学 ②グループ討議(各自のモデル紹介と相互討議) ③総括(実習・課題についての総括)
*両日とも終了後、簡易懇親会を開催(いずれも参加無料)。

講師 (関西大環境都市工)林 順一氏、(カネカ)吉見智之氏

申込締切 11月26日(月)

定員 10名(先着順)

参加費 30,000円(消費税、実習代を含む)

申込方法 用紙に標記タイトルを題記し、1)氏名、2)勤務先、職名、3)連絡先(所在地・電話・FAX・E-mail)、4)実践化学工学講座(攪拌・混合/反応工学/流動・伝熱)の受講経験の有無を明記の上、下記申込先にお申し込み下さい。参加費の送金は現金書留または銀行振込[りそな銀行御堂筋支店(普)0405228 公益社団法人化学工学会関西支部名義]をご利用下さい。

*本講座は2日間のコースですので、1日目の参加はできません。

*受講者には参加証を送付します。(12月上旬頃)

申込先 公益社団法人化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: apply@kansai-scej.org

本セミナーでは、CO₂分離回収からCO₂の利用に着目した最近の状況をご紹介します。新規事業化にむけた技術討論の場をご提供いたします。

日時 2018年11月16日(金)10:00～18:50(10:00～16:45講演会、16:50～18:50交流会)

場所 大竹商工会議所(〒739-0612 広島県大竹市油見3-18-11)

アクセス JR山陽本線大竹駅から徒歩7分

プログラム

主催者挨拶(10:00～10:05)

広島大学大学院工学研究科 教授 滝島繁樹氏
〔講演〕

1) (10:05～11:05) RITEにおけるCO₂分離回収技術の研究開発

(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE) 化学研究グループ主任研究員 甲斐照彦氏

2) (11:05～11:55) ネガティブカーボンエミッションへ向けた膜分離によるCO₂分離回収

九州大学カーボンニュートラルエネルギー国際研究所 准教授 谷口育雄氏

(11:55～13:00 昼食)

3) (13:00～13:50) 低温排熱利用による省エネ型CO₂分離回収システム(KCC)の開発

川崎重工(株)技術開発本部技術研究所 熱システム研究部 基幹職 吉澤克浩氏

4) (13:50～14:50) CO₂を利用する反応の開発

(国研)産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 触媒固定化設計チーム長

崔 準哲氏

(14:50～15:00 休憩)

5) (15:00～15:50) 環境適応型溶媒としての超臨界CO₂の有効利用

広島大学大学院工学研究科 教授 滝島繁樹氏

6) (15:50～16:40) 人工光合成型化学プロセスの実現に向けた取り組み

三菱ケミカル(株)横浜研究所 瀬戸山研究室 グループマネージャー 堤内 出氏

セミナー閉会挨拶(16:40～16:45)

〔交流会〕16:50～18:50(大竹商工会議所内)

定員 100名

参加費(消費税込み)

	講演会	昼食 (弁当)	交流会
懇話会会員、化学工学会会員	5,000円	1,000円	3,000円
非会員	8,000円		

申込方法 参加者氏名、会員・非会員の区別、勤務先、所属、連絡先(住所、電話、FAX、E-mail)、送金予定日、昼食(弁当)要/不要、交流会参加/不参加を明記し、電子メールまたはFAXでお申込み下さい。参加費のお支払いは、現金書留または銀行振込(もみじ銀行西条支店普通預金1058275 中国地区化学工学懇話会)をご利用下さい。

申込締切 2018年10月19日(金)

申込先 (問合せ先) 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内 中国地区化学工学懇話会事務局

TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494

E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp

中国地区化学工学懇話会ホームページ: home.hiroshima-u.ac.jp/konwakai/

実践化学工学講座実習編 —反応速度定数の決定と実際の 反応操作への適用—

主催 化学工学会関西支部

【1日目】

日時 2018年12月15日(土)13:00～18:00
会場 [講義] 関西大学 学術フロンティア・コア2階 会議室1
[実習] 同所 第4実験棟 地下1階 化学工学実験場
(大阪府吹田市山手町3-3-35)

【2日目】

日時 2019年1月11日(金)9:30～17:00

2018年度セミナー 「低炭素社会構築を目指した 最新のCO₂利用技術」

主催 (公社)化学工学会 中国四国支部、中国地区化学工学懇話会

2015年のパリのCOP21では、各国が地球温暖化原因と考えられているCO₂の削減目標を発表しています。我が国は2030年までに2013年比で26%の削減を掲げており、従来のCO₂を分離回収し、海底に隔離・貯留するCarbon Capture and Storage (CCS)のみならず分離回収したCO₂の効率的な利用Carbon Capture and Utilization (CCU)に関する取り組みが活発化しています。そこで



中国四国支部

情報サービスセンター

お知らせ

2018年度 第18回GSC賞 候補業績募集のご案内

受賞対象 『グリーン・サステイナブル ケミストリー賞』

グリーン・サステイナブル ケミストリー (GSC) の推進に貢献する優れた業績に対して贈られます。

- ・経済産業大臣賞：産業技術の発展に貢献した業績
- ・文部科学大臣賞：学術の発展・普及に貢献した業績
- ・環境大臣賞：総合的な環境負荷低減に貢献した業績
- ・ベンチャー企業賞・中小企業賞：中小規模の事業者による業績
- ・奨励賞：将来の展開が期待できる業績

※GSCとは…人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学

応募要領 公益社団法人新化学技術推進協会 (JACI) webサイトのGSC賞ページ (http://www.jaci.or.jp/gscn/page_03.html)から申請して下さい。
締切 JACI webサイトからの申請 2018年11月16日(金)17時 締切
応募資料(業績説明書等)の提出 2018年11月19日(月)17時 必着
問合せ先 公益社団法人新化学技術推進協会
E-mail: gscn18@jaci.or.jp
TEL: 03-6272-6880

求人

☆九州大学 大学院 工学研究院 化学工学部門
分子・生物システム工学講座 教員募集☆

募集人員：助教(常勤)1名

専門分野：生物化学工学, 生体材料工学, 再生医学

応募資格：博士の学位を有し(採用時まで取得見込者を含む), 研究と教育に熱意のある方

応募締切：2018年10月22日(月)必着

問合せ先：〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学大学院工学研究院化学工学部門 井嶋博之

TEL: 092-802-2748 FAX: 092-802-2748

E-mail: ijima@chem-eng.kyushu-u.ac.jp